

## 対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 イスファラ行政郡初・中等学校7校機材整備計画 供与式報告

平成27年5月15日、「イスファラ行政郡初・中等学校7校機材整備計画」の計画完了を記念する供与式がイスファラ行政郡中心部に程近いイスファラ市第5学校で行われました。イスファラ行政郡は人口約24万人を有し、ウズベキスタン共和国およびキルギス共和国と国境を接するタジキスタン北部の端に位置します。

本計画では、イスファラ行政郡内の公立学校7校を対象に、机・椅子セット、黒板、本棚などの備品を整備しました。これらの学校では、今から30～40年前に整備された備品を使用しており、机や椅子は破損しているものも少なくありませんでしたが、予算の問題により備品を一度に刷新することは難しい状況にありました。

今般本計画を通して、7校における教育備品が一新されました。これにより合計2,000人以上の生徒たちがより快適な環境で学ぶことができるようになりました。



3年生（9～10歳）の授業の様子。みんなとても真剣です。新しい机や椅子には日本の支援を示すステッカーが貼られています。



「新しい黒板だよ！」と嬉しそうな児童の様子。



供与式には多数の児童・生徒が参列。写真は鎌田大使（左から二人目）に国際チェス大会での3位入賞トロフィーを見せる児童（右から二人目）。



7校全ての入口には、日本の支援を示すプレートと、本計画で供与された備品の総計を示す表が掲げられています。